

参加のお誘い

■この研修では、ボランティア活動に関心があり、実践をしている人、対人援助の活動を志す人たちの自己理解、他者理解、コミュニケーションの基礎的な態度とスキルを、小グループ（Tグループ）の場を用いて、体験的に学びます。

心理、教育、福祉、医療、看護、ボランティアなど様々な分野で学び、活動しているユースの皆さんにとって意味ある学びの場となることを期待しています。



関西学院千刈キャンプ・センター棟

会場は、JR大阪駅から福知山線で約40分・三田駅からタクシーで約20分（当日、送迎あり）の研修施設です。プログラムは、センター棟内の研修室・ラウンジ・食堂を、宿泊は別棟の和風キャビンを使います。豊かな緑に包まれた環境での研修になるでしょう。

共催団体

関西学院千刈キャンプ
URL: http://www.kwansei.ac.jp/f_sengari/
特定非営利活動法人 ブレインヒューマニティー
（青少年育成団体）
URL: <http://www.brainhumanity.or.jp/>
シチズンシップ共育企画 （市民教育団体）
URL: <http://active-citizen.jp/>

HCL研究会・事務局

〒660-0076 尼崎市大島3-14-24 長尾文雄方
電話/FAX: 06-6418-5430
E-mail: hcl.tgroup@gmail.com
URL: <http://hcl.seesaa.net>

Human Communication Laboratory

対人援助職をめざす学生/
ボランティア活動にかかわる
学生のために

ヒューマン・コミュニケーション・ ラボラトリー

<HCL for Youth>



日程
2014年 8月28日（木）13:00から
<3泊4日の宿泊研修>
8月31日（日）15:00まで

会場
関西学院千刈キャンプ
兵庫県三田市郊外

主催
HCL研究会

URL: <http://hcl.seesaa.net>

HCLへの参加動機

- ・いろいろな人と知り合いになりたかった
- ・おもしろそう! 好奇心で...
- ・対人関係をキチンと学びたいと思って
- ・将来、対人援助職の仕事がしたかった
- ・学生のうちに、体験しておきたかった
- ・友人、先輩、先生などに勧められて...
- ・内容が濃いのに参加費が安かった
- ・参加は初めての人が多かったと聞いたから
- ・就活に役立ちそうだから...

参加の要項

日程

2014年8月28日(木)13:00から
8月31日(日)15:00まで <3泊4日>

会場

関西学院千刈キャンプ

〒669-1507 兵庫県三田市香下1817-1
Tel:079-563-5233 Fax:079-563-5235

対象

大学生・大学院生・30歳までのユース
(全日程参加できる方)

定員

24名 (先着順で、受付します)

参加費

29,000円

(研修費、滞在費、保険料等一切を含む)
(学生割引料金:25,000円)

● 申込締切: 8月15日(金)

E-mail: hcl.tgroup@gmail.com

- e-mailにて次の内容をお知らせください。
- 氏名・フリガナ・性別・年齢(8月末時点)
- 郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス
大学名・所属学部、学科、学年 (所属団体)
- 参加を考えたきっかけ、動機など
(受付後、参加のしおりを送ります)

HCL研究会 URL: <http://hcl.seesaa.net>
(ここからでも申込が出来ます)

- 詳しい情報や問い合わせは、HCL研究会へ
E-mail: hcl.tgroup@gmail.com

Q. どんなプログラムをするの?

A. プログラムの中心は、Tグループとよばれる小グループ(10名前後)での体験です。参加者はグループに分かれ、何も無いところからグループが生まれ育っていくこと、そこに起こる人と人の関わりの中での受容・共感の体験を味わいつつ、自分・他者への気づきを深め、お互いの影響関係を探り、できれば新しい行動を試みます。さらにTグループの他に、全体会を設け、経験を共有して、互いの学びを深めます。

Q. 研修を受けたら、どんなことが得られるの?

A. この研修において得られるものは、自分や他者理解、対人関係能力、グループ・プロセスの理解などです。研修ではみなさんの日常生活に焦点をあわせてはいませんが、グループという「いま、ここ」での体験から得られるものは、日常での自らのあり方をとらえなおし、変化をもたらす効果があります。

対人援助職の基本的な能力である「自己一致」「共感的理解」「受容」などを体験的に学ぶことができます。

● スタッフ

長尾 文雄 (フリーランス/HCL研究会代表)

川島 恵美 (関西学院大学人間福祉学部 准教授)

山本 智也 (京都ノートルダム女子大学生生活福祉文化学部 教授) 他交渉中

Q. 参加した人の感想は?

A. 参加した人からは、自分や他者を受け入れること、自分を丁寧に表現すること、グループの関わりを丹念に見る力がついたとの感想が寄せられています。また、その後、心理・教育・福祉といった対人援助に関わる仕事をしているHCL体験者からは、利用者と接するとき、共感した感覚や気持ちを率直に伝えている自分に気づくことができているとの声が寄せられています。Tグループの体験は、人間としてのあり方や態度を点検するための有用な機会となっています。それは、対人援助職の基本的態度の理解と習得につながっているようです。

Q. この研修について、もっと知りたい!

A. この研修は、アメリカの全米教育協会に属するNTL (National Training Laboratory) が、1947年以来実施している研修です。日本には、1958年に導入。民主的な社会を創りあげる市民を育てることをねらいとした研修です。参加者の一人ひとりを尊重し、参加者の主体的な関わりを前提とした実験的な体験が出来る学習の場です。この方式をブレインヒューマニティーで活動する学生の成長に活かすために、2000年に第1回を実施。今年が第14回目となります。今までの参加者は、約200人となっています。

フォローアップ研修 (本研修のふりかえり)
2015年2月下旬の土曜日午後開催予定